

絡み合う魔性たちのいびつな愛!?

シリーズ
第4作

紫紺の糸

あらすじ

カラヴィス公国の第一公子・ソルヴァンセスが謎の衰弱状態に陥っているという。原因を突き止めるため、ラスが調査を引き受けるが、護り手である闇主とはある一件以来、うまくいっていない状態だった。カラヴィスの公女であり、浮城の魅縛師でもあるリーヴシェランと、その護り手・彩糸とともにカラヴィスを目指すラスだったが、魔性の妨害に遭ってしまう。突然現れた邪羅に助けられ窮地を脱すも、ラスは自分の影が消えていることに気づき……!

ソルヴァンセス

リーヴシェランの兄で、カラヴィス公国の第一公子。中世的な美貌を持つが、原因不明の病に冒され衰弱してしまう。

リーヴシェラン (リーヴィ)

カラヴィス公国の第二公女。魅縛の力を持っていたため浮城に送られた。自分の髪を弦に用いた琴を奏することで、魔性を魅了できる魅縛師。

用語解説

影糸術 (えいしじゅつ)
人間の影を盗み、それを核として人形を生み出す技。人形が完成してしまつと、実体(肉体)はなくなり、魂は人形のほうに移る。

紫紺の妖主/藍絲

紫色の髪と瞳の妖主。藍絲という名を持ち、糸を操る能力がある。気に入った人間を人形にして手元に置いているが、本当に愛しているのは白焰の妖主のみ。

佳瑠

紫紺の妖主のお気に入り
の配下で女性の妖貴。ソ
ルヴァンセスに好意を
抱く。影糸術の使い手。

彩糸/マーセルヴィンス

リーヴシェランの護り手。魅縛されたのではなく自分の意志で従っている。かつてはマーセルヴィンスという名の人間であり、リーヴシェランの美姉。

見どころ
Check!

- 魅縛師のお仕事が明らかに。リーヴシェラン登場!
- 超レア!? 侍女として公国へ赴く際に見られる、ラスのおめかし姿は必見!